

令和5年2月

袋井市議会定例会

一般質問通告内容

インターネットで本会議の中継（録画）放送を行っています。
Yahoo! や Google などの検索画面から
袋井市議会を検索して、御覧ください。

傍聴者の皆様へ
携帯電話はマナーモードへの切り替えをお願いいたします。

袋井市議会

一般質問通告議員

実施日		質問順	議員名	質問形式	ページ
2/28(火)	午前	1	大庭 通嘉	一問一答	3
		2	鈴木 賢和	一括	5
		3	大場 正昭	一括	7
	午後	4	寺田 守	一問一答	9
		5	佐野 武次	一括	10
		6	立石 泰広	一括	11
3/1(水)	午前	7	太田 裕介	一括	13
		8	木下 正	一問一答	14
		9	竹村 眞弓	一問一答	15
	午後	10	竹野 昇	一括	17
		11	高木 清隆	一問一答	21
		12	村松 和幸	一括	22
3/2(木)	午前	13	安間 亨	一問一答	23

質問順序	1	議席番号	20	質問者	大庭 通嘉
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					答弁者
1	<p>治水対策について</p> <p>袋井市は地勢的にも周りを丘陵地に囲まれ、鍋底的平地に多くの河川が流れている。これまで水害を克服するために二級河川をはじめ中小の河川整備を推進してきたが、近年の水害対策をするためには、いま一度、河川整備を見直し対策する必要がある。特に、中心市街地の雨水を集水している蟹田川・松橋川をはじめ各河川は、昨年策定された「袋井市かわプログラム」の前倒しの治水対策（河川改修）が求められている。</p> <p>(1) 袋井市かわプログラム（袋井市河川等整備計画）について ア 河川整備の全体予算をどのように考えているか。 イ 全体事業費のうち本市の実質的負担額（裏負担分）はいくらか。</p> <p>(2) 蟹田川の整備に対する基本的な考え方について ア JR、松橋川合流地点以北の河川改修が求められるが、市の考えを管理者である県に要望していく考えはあるか。 イ 蟹田川の改修は平成22年より、12年間事業停滞しているが、その原因と対策について伺う。 ウ JR東海道線までの河川改修の完了予定時期と蟹田川彦島大橋架橋の完成時期はいつか。 エ 蟹田川の支川、準用河川松橋川の改修計画と今後の推進策は。 オ 松橋川流域の川井地区等における当面の水害対策の進め方は。</p> <p>(3) 市の土地利用指導要綱により設置が義務付けられた調整池について ア 開発に伴う河川への影響をどのように評価・認識しているか。 イ 地域を指定して開発面積500～800平方メートルに対しても調整池の設置を求めているが追加する考えはあるか。</p> <p>(4) 袋井市中部豪雨災害対策アクションプランの位置付けについて ア 平成20年に策定されたアクションプランでは、保水地域における保全の説明文に土橋という文言は入っていない。また、かわプログラムの保水地域にも含まれていない。平成30年3月に策定された都市計画マスタープランには、土橋工業開発地は都市活力創出地として位置付けられている。そこで、平成20年に策定された中部豪雨災害アクションプランは既に改定されたという認識で良いか。</p> <p>(5) 土橋の工業開発について ア 技術基準に基づき調整池が設置されるが、下流域への影響をどのように捉えているか伺う。</p> <p>(6) 市街地にある農地について ア 湛水機能を有する用途地域内にある農地の固定資産税・都市計画税を減免する考えはないか。</p> <p>(7) 老朽化した排水機場の今後について ア 袋井排水機場及び蟹田排水機場の今後の対応策は。</p>				市長
2	<p>文化財の保全について</p> <p>澤野医院記念館は市の指定文化財であり、市景観形成ガイドプランにも歴</p>				教育長

質問順序	1	議席番号	20	質問者	大庭 通嘉
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					答弁者
2	<p>史的価値や洋館のモダンレトロな意匠が紹介されている。開館後 22 年目を迎え、これまで地元のお世話人の皆さんに管理をお願いしてきているが、改めて市としての今後の方針や運営の在り方を考える時期に来ている。</p> <p>(1) 澤野医院記念館の今後の市の運営方針は。</p> <p>(2) 市としての澤野医院記念館の位置づけと世話人会に求めることは。</p> <p>(3) 澤野医院記念館の施設及び樹木の管理、並びに館の予防保全の考え方は。</p> <p>(4) 大正 5 年に建てられた洋館の開放と、澤野医院記念館を景観重要建造物の指定や国の登録有形文化財として登録する考えは。</p> <p>(5) 展示品及び展示品以外の澤野家の収蔵物の整理、その進捗状況と今後の進め方について</p> <p>(6) 澤野医院記念館の来館者を増やすため、あるいはリピーター客を増やすため文化財係が考えている施策とは。</p>				教育長

質問順序	2	議席番号	2	質問者	鈴木 賢和
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					答弁者
1	<p>自販機リサイクルボックスの異物混入低減の取組について</p> <p>地域・場所による違いがあるが、ペットボトルを自動販売機に併設されたリサイクルボックスで回収する際、弁当容器、紙カップ等異物が混入されているケースがあります。このような異物を飲料メーカーや流通業者が自主的に費用・労力等を負担し処理しています。その問題の要因として、公共のゴミ箱の撤去が進んでいることや、コンビニエンスストア等がゴミ箱を店内に移設されていることが指摘され、その受け皿としてリサイクルボックスが不適切に使われているとの考えもあります。</p> <p>(1) 未来の世代を守るため、本市においても「プラスチックごみゼロ宣言」を行い、さらなる3Rを推進し、環境問題により積極的に取り組む姿勢を明らかにすべきと考えますが、見解を伺います。</p> <p>(2) 自販機リサイクルボックスへの異物混入問題をどのように認識されていますでしょうか。</p> <p>(3) 行政として、業界と連携し、異物混入が多いエリアの調査を含めた実態の把握・公共ボックスの適切な設置・官民協働の新回収モデル策定への協議会の立ち上げを提案しますが、問題解決の決意を伺います。</p>				市長
2	<p>ミライロIDの活用について</p> <p>ミライロIDとは、障害者手帳を所持している方を対象としたスマートフォン用アプリです。利用者は、障害者手帳の情報、福祉機器の仕様、求めるサポートの内容などをミライロIDに登録できます。公共施設において、ミライロIDを提示することで、障害者割引や必要なサポートをスムーズに受けられます。利用者はあらかじめスマートフォンに情報を登録しておけば障害者手帳を持ち歩く必要がなくなります。</p> <p>(1) 障害者割引を行う公共施設においてミライロIDを確認書類として有効にするようにしていただきたいと思いますが考えを聞かせてください。</p>				市長
3	<p>土地所有者不明について</p> <p>現在人口減少や高齢化社会、過疎化を迎え、人の住まない地域が増えている。土地の資産価値が下落傾向にあり、相続されずに放置され続けられれば、相続人が増え続け、所有者の把握は難しくなっていく。緊急を要する防災工事・災害復旧工事では大幅に遅れをとり、復旧工事が滞るのではないのでしょうか。</p> <p>(1) 本市において所有者不明の土地は何カ所あるのでしょうか。</p> <p>(2) 本市において所有者不明の土地問題に対しどのような対策を講じているのでしょうか。</p> <p>(3) 登記と現実が合っていない状況が、なぜ放置されてきたのか伺います。</p>				市長

質問順序	2	議席番号	2	質問者	鈴木 賢和
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					答弁者
《一括》					
3	(4) 所有者不明の土地の増加に歯止めをかけ、再び発生しない仕組みの整備を目指すことが必要かと思われませんが本市の考えを伺います。				市長

質問順序	3	議席番号	16	質問者	大場 正昭	
質問事項・要旨（具体的な質問事項）						答弁者
<p>1 道路の維持修繕について</p> <p>先般も議会での質問で議題となった。日頃、道路の維持修繕について、道路の穴や側溝蓋の損壊などの維持管理に取り組んでいる。緊急性を要する修繕の対応に追われているように思う。計画的な修繕を望むがどうか。</p> <p>(1) 市内道路の維持修繕について</p> <p>ア 道路の維持修繕費の現在と、10年前の予算額はどうか。併せて、市民から寄せられる道路の維持修繕関連の要望の具体的な内容と、直近3年間の件数について伺う。</p> <p>イ 道路がかなり以前から沈下している箇所がある。パトロールしていて、気が付かないところもある。現在パトロールがどのように行われ、どのように修繕の必要性を決めるのか伺う。</p> <p>ウ 要望しても「来年度以降対応していく」との回答では、市との協働や信頼関係を築いていくことは難しい。そういった声への対応はどうか伺う。</p> <p>エ 市民生活に密着した道路の維持修繕費について、今後の対応はどうか伺う。</p>						市長
<p>2 県への地元要望について</p> <p>9月23日の台風15号上陸に伴う豪雨災害が発生し、市内各所では甚大な被害が発生した。被災した箇所では今もなお生活再建や復旧に向けて、大変な日々が続いている。河川の維持管理は、管理者である県が行うこととなっている。しかしながら、市民の生活と安全を守る義務は市にもあるのではないかと、その点について伺う。</p> <p>(1) 静岡県への地元要望について</p> <p>ア 県や市では多様な地域の声を反映させるため、河川整備計画を策定し、その計画に基づいて事業を行っている。二級河川敷地川に関する計画はどうなっているか伺う。</p> <p>イ また、今後は護岸の維持や浚渫が必要であり、早期の取組が重要である。地元の「何年も要望しても実施されないので諦めている。」という声に市として、どう応えていくのか伺う。</p>						市長
<p>3 昨年9月の豪雨災害の復旧状況と災害復旧事業について</p> <p>今回の豪雨は、昭和49年の七夕豪雨を上回る、これまで経験したことのない、未曾有の災害となった。今後も大雨が降れば、損壊のあった道路や河川では二次災害が発生する可能性もある。本格的な復旧工事の早期着手を望む。</p> <p>(1) 昨年9月の豪雨災害の復旧状況と災害復旧事業について</p> <p>ア あと数カ月すれば、出水期を迎える。この時期になってもいまだ完成をみないこの現状を市はどのように考えているのか伺う。また、現時点での完成目途と未着手の主な要因について伺う。</p>						市長

質問順序	3	議席番号	16	質問者	大場 正昭	
質問事項・要旨（具体的な質問事項）						答弁者
《一括》						
3	イ 今回の豪雨で被災した箇所は災害復旧においては、原形復旧と併せて改良復旧も行い、災害に強い施設への改修を進め、被災防止を図っていくべきである。具体的にそのよう検討をしているのか、災害復旧に対する市の考えを伺う。					市長
4	袋井市大谷幕ヶ谷地内の準用河川中沢川上中流域の河川改良と護岸の維持修繕について 市内の主要河川は市の河川整備計画に基づき、着々と改修工事が進んでいる。しかしながら、主要河川以外の河川排水路ではいまだ整備されていない箇所が多数存在する。準用河川中沢川についても上中流域の対策はほとんど手付かずの状態である。 (1) 準用河川中沢川上中流域の河川改良と護岸の維持修繕について ア 大場市長の掲げる市民の安心安全な暮らしを守るという観点から、この状況について、どう考えているか伺う。 イ また、準用河川中沢川の計画流量や、河川氾濫危険水位として、どの程度を設定しているのか伺う。 ウ さらに、その数値に対して、今回の台風豪雨時には、実際の流量や水位はどの程度であったか具体的に伺う。					市長
5	二級河川整備の在り方について 全国的にみると、都道府県が管理者である二級河川であっても市が工事を行っている場合がある。昭和62年の河川法の一部改正によって、市町村長が河川管理者に代わって河川工事または維持の権限を代行できるものである。このことをどのように捉えているか。 (1) 二級河川整備の在り方について ア 敷地川についても管理者である県と連携し、市町村工事制度を積極的に活用した対策に取り組んでいく考えはないのか伺う。また、今後の方向性についても伺う。					市長

質問順序	4	議席番号	17	質問者	寺田 守	
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					《一問一答》	答弁者
1	台風15号の特徴と被害 昨年9月、東海地方を襲った台風15号は、本市でも近年にない大きな豪雨災害をもたらした。この豪雨は線状降水帯によるものとされ、お一人が亡くなられたほか、河川の増水による橋梁の流失、土砂崩れ、内水氾濫が広範囲に発生した。今回の豪雨の特徴と被害について伺う。 (1) 袋井市役所での降雨データを見ると、今回の台風15号は時間雨量62.5ミリメートル、累計雨量256.5ミリメートルと記録されている。近年の豪雨と比較してどのような傾向や特徴があったのか。 (2) 今回の台風15号は、大きな被害をもたらした平成16年11月豪雨に相当する雨量であったが、被害規模はそれを上回るものがあった。今回の豪雨と被害との関連性について伺う。				市長	
2	市民への避難情報発令と市職員の対応 台風15号では市民への避難情報発令、浸水箇所の通行止め、排水機場の運転など緊急事態が発生したが、その対応策について伺う。 (1) 9月23日午後10時7分に市指定避難所開設が指示されているが、既に豪雨が始まっていた時刻である。駆け付けるには危険を伴う事態も発生したと思うが、どのように考えているか。 (2) 9月23日から24日未明にかけて最大で75家族178人が市指定避難所に身を寄せている。避難には早めの移動、また自宅や近所での垂直避難が安全の場合もあると思うが、どのように考えているか。 (3) 排水機場の運転には、専門的な操作や安全確保の訓練が必要と思われる。今回の豪雨のように、駆け付けるにも容易でないケースもあると思うが、どのように考えているか。				市長	
3	沖之川排水区の治水対策 沖之川排水区では、今回の台風15号でも近年にない域内の水没があった。同排水区は本市でも重点排水区に位置付けられているが、被害軽減のための緊急対策の実施について伺う。 (1) 水害の常襲地帯になっている箇所があるが、水の侵入を防ぐため、河川堤防のかさ上げや耐水壁の設置について伺う。 (2) 同排水区には農業用ため池が数多く存在している。沖之川への負荷を減らすため、大雨予想時の貯水機能の確保について伺う。 (3) 今回の台風15号では新築家屋の浸水被害もあった。過去の大雨で内水氾濫が発生した箇所を示す「浸水被害実績図」を作成することだが、どのように進められているのか。				市長	

質問順序	5	議席番号	8	質問者	佐野 武次
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					答弁者
<p style="text-align: center;">《一括》</p>					
1	<p>浅羽中学校への校庭貯留施設の設置効果等をどう考えているか</p> <p>新年度において、浅羽中学校への校庭貯留施設の整備を予定されているが、この事業の効果や考え方等について伺う。</p> <p>(1) 予定地は市街地の最南端に位置し、周囲には水田が広がっていることなどを踏まえると、諸井里山遊水池のように、調整池等の役割を持って、下流域の浸水被害や河川の負荷を抑制すると言った観点からは、その効果はあまり期待できないと思うが、どう考えているか伺う。</p> <p>(2) 流末の弁財天川には、江ノ端排水機場をはじめ、高潮等への対応として昭和樋門が設置され、外水位となる潮位の影響をじかに受け、流域の河川の水を放流することは難しい状況にある。そうした状況でも効果は期待できるのか伺う。</p> <p>(3) 整備予定個所は、テニスコートやサッカー場を含む区域を予定しているが、中学校ではP T A会議等の学校行事があるときには、駐車場としても利用している。雨水を貯留することとなれば、部活動なども含め、当分の間、利用が制限されることが想定されるが、学校関係者とは、どのような調整をされてきたのか伺う。</p>				市長
2	<p>森林環境譲与税の活用状況と今後の方策について</p> <p>森林環境譲与税を活用し進められている本市の森林整備事業は、どの地域でどのような事業が進められているのか。また、その範囲や効果は、どのように考えられているのか伺う。加えて、今後、この森林環境譲与税を活用し、どのように市内の森林整備を進めていく考えであるのか伺う。</p>				市長
3	<p>掛川市内の医療用資材流出への対応について</p> <p>昨年9月の台風15号の影響により、掛川市内で個人が保管していた大量の医療用資材が太田川に流出した。</p> <p>(1) この事案に対して、本市としては、これまでどのように対応されてきたのか伺う。</p> <p>(2) 今後、市内の河川や海浜の環境保全。また、安心して川辺や海辺を利用できる環境の確保に向けて、どのように監視体制などを整え、利用環境等の保全・確保に努めていく考えであるのか伺う。</p>				市長

質問順序	6	議席番号	13	質問者	立石 泰広	
質問事項・要旨（具体的な質問事項）						答弁者
<p>1 海のにぎわい創出事業に関連して</p> <p>令和7年度の浅羽海岸防潮堤の完成に合わせ、同笠海岸の海のにぎわい創出に向けた環境整備が進められている。これに関連し次の2点について伺う。</p> <p>(1) 安全宣言の発信</p> <p>ア 防潮堤完成に合わせ、本市として市民に対し、安全に関するメッセージを発信すべきと考えるが用意はあるか。</p> <p>イ 防潮堤完成に合わせ、津波ハザードマップの見直しを行うべきとの意見があるが、どのような方針で臨むか。</p> <p>(2) サンドバイパス事業</p> <p>ア サンドバイパス事業のこれまでの成果、最近時の稼働状況、今後の事業計画はどうなっているか。</p> <p>イ 白砂青松あつての海のにぎわい創出事業。地域住民の多くが浅羽海岸の浸食を心配している。サンドバイパス事業の進捗状況は、市民に対し定期的に報告していくべきではないか。</p>						市長
<p>2 生活困窮者の緊急支援対策</p> <p>長期化するコロナ禍で、急激な物価高が市民生活にさらなる影響を及ぼす中、生活困窮者支援は喫緊の課題。次の3点について伺う。</p> <p>(1) 令和3年度、行政や社会福祉協議会の窓口での生活困窮者の自立支援相談件数は2,918件。今後の相談増に備え、人員体制のさらなる拡充はできないか。</p> <p>(2) 令和3年度、離職により住居を失う、またはそのおそれが高い生活困窮者89世帯に1,474万円の住居確保給付金を支給した。給付金の確実な支給など、さらなる支援の拡充はできないか。</p> <p>(3) 生活困窮家庭の子どもの貧困対策として、親の経済的支援や就労支援、食事支援、食料支援、生活支援、学習支援など包括的に行う必要がある。現状、どう支援を行っていて、今後どう拡充していくか。</p>						市長
<p>3 小・中学校のいじめ・不登校対策</p> <p>いじめ・不登校を生まない楽しい学校づくりに向け、家庭・地域・学校が連携して、役割を果たしていくことが必要。次の3点について伺う。</p> <p>(1) 本市の現在の不登校の状況と、その主な原因は何か。</p> <p>(2) いじめ・不登校の未然防止</p> <p>市内各学園が、それぞれ掲げているグランドデザインに基づいて取組を推進することで、いじめ・不登校の未然防止につながっていると思</p>						教育長

質問順序	6	議席番号	13	質問者	立石 泰広	
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					《一括》	答弁者
3	<p>うが、日常の生徒との関わりの中で、重視している取組は何か。</p> <p>(3) 不登校支援</p> <p>ア 不登校生徒へのリモート授業はどのように活用されているか。授業のフォロー体制、出席の要件はどうなっているか。</p> <p>イ スクールカウンセラーやソーシャルワーカーなど、専門家を含めたチームによる支援は活用されているか。実施に当たっての課題は何か。</p>				教育長	
4	<p>三沢川の河川維持管理</p> <p>三沢川は、小笠山丘陵に源を発し、笠原地内を流れ弁財天川に合流する河川で、過去に幾度の氾濫が発生している。</p> <p>(1) 河川の氾濫対策</p> <p>昨年9月の台風15号により、笠原こども園北東部の三沢川に土砂が堆積し河床が高くなった。大雨による氾濫が心配され、速やかに対策すべきと考えるが、市はどう認識しているか。</p>				市長	

質問順序	7	議席番号	1	質問者	太田 裕介	
質問事項・要旨（具体的な質問事項）						答弁者
<p style="text-align: center;">《一括》</p>						
1	<p>運動部活動地域移行について</p> <p>政府がかねてより検討をしてきた運動部活動地域移行に関して、令和5年度より段階的にその準備が開始されることとなる。さまざまな課題が散見される中、市として中学校や地域のスポーツクラブとどのような連携を行っていくのか、また、顕在化している課題にどのように対処するか伺う。</p> <p>(1) 運動部活動地域移行に関しては各自治体によって異なった環境があり、さまざまな課題が山積している。袋井市において現時点でどのように取り組んでいくか、その考えを伺う。</p> <p>(2) 有力なスポーツ選手を袋井市より輩出するため、上位大会参加者への公平な強化費などを検討すべきと考えるがどうか。</p> <p>(3) 大会を含めた活動場所への移動が全国的、特に地方都市において課題となっている。どのような対策を考えているのか伺う。</p> <p>ア 市として運動部活動での利用が可能なマイクロバスなど移動手段を用意する考えはあるか。</p> <p>イ 公立学校だけでなく、地域のスポーツクラブにおいても大会への移動手段がなく困っているという話を伺った。今後地域スポーツクラブとの連携も重要になってくる中で、その支援体制に対して伺う。</p> <p>(ア) 市のマイクロバスを貸し出したりすることはできないか。</p> <p>(イ) マイクロバスを保有する諸団体との仲介役となり、地域全体でのスポーツ活動支援体制を構築することができないか伺う。</p>				教育長	
2	<p>ペット(犬と猫)のマイクロチップ情報登録制度に関して</p> <p>令和4年6月より「犬と猫のマイクロチップ情報登録」制度が開始された。犬や猫が迷子になったり、地震等の災害や事故等で離ればなれになったりしても、飼い主のもとへ戻る確率が高まる。また野良猫や野良犬を減らすことで、愛犬猫家だけでなく地域環境にも資することから以下2点に関して市の考えを伺う。</p> <p>(1) 制度施行前に購入された犬猫に対するマイクロチップ埋め込みを補助する考えはあるか。</p> <p>(2) 災害時に備え、各指定避難所などにマイクロチップ専用リーダーを用意する考えはあるか。</p>				市長	

質問順序	8	議席番号	6	質問者	木下 正	
質問事項・要旨（具体的な質問事項）						答弁者
《一問一答》						
1	新設子ども家庭庁の取組方針や命の安全教育と袋井市の取組について					教育長
	<p>(1) 「子どもの安全」のうち、性被害防止等対策について 多様な場所、人物による子どもの被害などをどのように受け止めどのように対処していくのかを問う。</p> <p>(2) 「子どもの居場所」のうち、放課後児童クラブ対策について 受け皿整備やICT化の推進、内容や質の向上・安全確保に関する施策を問う。</p>					
2	スポーツ庁、文化庁による総合的なガイドラインと袋井市の取組について					教育長
	<p>(1) 学校部活動のための適正な運営の在り方について ア 部活動指導員や外部指導員などの確保には校長か学校の設置者のどちらを主体とする予定であるか。 イ 学校と地域が協働・融合した形での環境整備とはどのようなものであると考えるか。</p> <p>(2) 生徒の活動の場として整備すべき新たな地域クラブ活動の在り方について ア 地域スポーツや関係団体、学校等の関係者を集めた協議会の現状はどうか。 イ 競技志向の活動ではなく生徒の志向等に適したプログラムはどのように確保するのか。 ウ 困窮家庭への支援、国との連携はどのようなものか。</p> <p>(3) 学校部活動の地域連携や地域クラブ活動への移行に向けた環境整備について ア まずは休日における地域移行への環境整備の推進について伺う。 イ 段階的な体制整備のため合同部活動や部活動指導員の活用は考えているか。</p> <p>(4) 大会等の在り方の見直しのため、教師が引率しない体制の整備の進捗状況はどうか。</p> <p>(5) 運営者のみを集めた協議会だけではなく、生徒や保護者、部活動指導員などを含めた協議会の開催も必要であると考えているがどうか。</p> <p>(6) 令和5年度から令和7年度までの3年間で改革推進期間とのことだが現時点でのスケジュールはどうか。</p>					

質問順序	9	議席番号	12	質問者	竹村 眞弓	
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					《一問一答》	答弁者
1	補聴器購入助成制度の創設について 本市は、「日本一健康文化都市」を掲げ高齢者の健康寿命の延伸に向けて積極的に取り組まれています。この取組を進める中で、高齢者の社会参加を阻む重要な要因の加齢性難聴への対策は必須です。令和3年11月市議会定例会での補聴器購入助成制度創設に関する一般質問での答弁では、「補聴器が必要な方に対して実態調査をする中で把握をしていく、県内の補助制度を実施している状況も把握した上で、来年の中で制度創設について前向きに検討していきたいと思う」ということでした。 (1) 補聴器が必要な方に対して、令和4年度に実施する長寿しあわせ計画の策定に向けた意識調査をする中で把握をしていく、また、聞き取りや助言をして、専門機関へつなげているということだったが、把握できたのかその検証結果について伺いたい。 (2) 近隣市等の状況をどのように調査したのか、助成制度創設の成果や問題点などの把握状況について伺いたい。 (3) 40デシベル、また、65歳からが補聴器装着を検討するタイミングであるが、このタイミングを逃さない取組についてどのように考えているか伺いたい。 (4) 補聴器購入助成制度の創設について、来年の中で前向きに検討することだが、いつ頃の実施を考えているのか、また制度創設への課題はあるのか伺いたい。				市長	
2	通学路の安全対策について 令和3年の千葉県での通学時に5人の児童が死傷した交通事故を受け、本市も通学路等における交通安全対策を確実にするため、市内全ての幼保こども園、小中学校の通学路の再点検を行っています。また、今後、行うべき対策をソフト・ハード対策、短期・中長期的に講ずるべき対策を整理し対応していくとのことでした。しかし、長期計画でまだ完了していない通学路は危険な状況が続いています。特に県道袋井小笠線は、自転車の接触事故もあり保護者は常に不安を抱えています。 (1) 通学路の点検結果と今後の対策について伺いたい。 (2) 道幅の拡幅等、長期的な計画の場合、その間の安全対策について伺いたい。 (3) 県道袋井小笠線の通学時間帯における安全対策の課題についてどのように認識しているか伺う。				教育長	
3	学校給食費の保護者負担増について 憲法に定められた子どもの権利の保障「子どもたちが健やかに生き成長する権利保障」その基本に立ち無償化が求められています。子育て中の保護者				市長	

質問順序	9	議席番号	12	質問者	竹村 真弓	
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					《一問一答》	答弁者
3	<p>にとって教育費の負担が生活を圧迫する中、全国的に給食費の無償化の自治体は増加しています。本市は、物価高騰による給食材料費の上昇分を助成し保護者負担の増額をしないための対応を行ってきました。今回、近隣市では食材費高騰により給食費の保護者負担増を発表しているところもありますが、菊川市は、保護者負担を市費で穴埋めするとしました。子どもの権利保障の視点、物価上昇が進む中、最低限現状の対応の継続が必要です。</p> <p>(1) 子どもの権利保障の基本から全国的に給食費の無償化の自治体が増えてきている、このことについてどのように認識しているか伺いたい。</p> <p>.....</p> <p>(2) 物価上昇が止まらず家計への逆風が強まっている中での学校給食費の保護者負担増は行うべきではないと考えるがいかがか。</p>				市長	
					教育長	

質問順序	10	議席番号	11	質問者	竹野 昇
質問事項・要旨（具体的な質問事項） 《一括》					答弁者
1	<p>（仮称）袋井市子ども交流館あそびの杜基本構想案についてと対案の提案</p> <p>(1) 民生文教委員会では、ワンフロアの子どもの施設が望ましいと話し合い、それを担当課が聞いていたが、構想案に生かされていないのはなぜか。</p> <p>(2) 民生文教委員会が「飲食などを楽しめるラウンジ機能を持つ施設を提案」し、構想案の整備方針にも「飲食などができる機能」が取り入れられている。2階東側が最適の空間だと思うが、当局の考えを問う。</p> <p>(3) 浅羽笠原まちづくり協議会生活支援ネットワーク事務局、社会福祉協議会浅羽支所、シルバー人材センター浅羽支所は、周辺への移転を前提に協議を進めるとあるが、協議の現段階における状況を問う。また茶文化資料館は、高尾の介護保険関係事務所を移転候補地として調整するとあるが、調整の状況を問う。</p> <p>(4) 以下は私の構想案であるが、具体的な私の提案に対する当局の考えを問う。</p> <p>ア 支所2階東側通路南側全体を飲食スペースとし、食堂とカフェを設置する。食堂は浅羽支所周辺公共施設・JA・商工会などに来た人や地元の人々が気軽に利用できるメニューを用意し、ラウンジ風のカフェは、だれでも休憩・談話しながらお茶・コーヒーなど楽しめる空間にする。</p> <p>イ 2階北側に防災機能スペースがある。災害時には飲食スペースが炊き出し拠点・休憩・打ち合わせなど多目的に利用できる。</p> <p>ウ 2階北側真ん中に、現在1階に事務所を置いている3つの団体が入る。社会福祉協議会浅羽支所が災害時にボランティア受付・支援物資配布など現地司令塔の役割を担うことが可能になる。生活支援ネットワーク事務局も災害時の生活支援の情報を社協と共有できる。</p> <p>エ 1階に、子どもの施設を作る。メロープラザの親子交流広場は残し、3歳以上小学6年生までの児童を対象にするが、具体的な施設内容は子育て世代の人々や近隣幼稚園・小学校の先生、浅羽図書館職員、ボランティアとして協力が見込まれる浅羽中学校の生徒会など、関係者とすこやか子ども課が十分な協議をして詰める。基本計画の大枠は、そうした関係者で構成されるワーキンググループで詰めていく。</p> <p>オ 近藤記念公園の一角に、児童遊具施設を作り、支所内の子ども施設と公園を一体的にあそびの杜とする。</p> <p>カ 3階にある茶文化資料館は残し、2階に予定するカフェで、お茶の入れ方を学んだり世界のお茶を飲めるイベントを開催してもらおう。</p> <p>キ 2階西側の歴史文化館や文化財系の事務室スペースは残し、近藤記念館・郷土資料館と一体的に袋井市の文化財を研究・保存・展示・情報発信する拠点とする。郷土資料館2階を改修し、展示場として使えるようにする。</p> <p>ク 2階か3階の現在文化財を保管している部屋の一つを、子どもの施設運営団体がイベントなどを相談企画する会議室・地域の人々も会議などに利用できる多目的会議室とする。</p>				教育長

質問順序	10	議席番号	11	質問者	竹野 昇	答弁者	
質問事項・要旨（具体的な質問事項）						《一括》	
1	<p>ケ 子ども施設の運営に当たり、浅羽中学校の生徒を含み地元の人々が多様な形でボランティアとして協力できる体制にする。そのため、民間企業に運営を委託するのではなく、袋井市民主体の運営団体を新たに創設する。</p> <p>コ 構想案では7.5億円から8億円を想定しているが、改修を最低限に抑え、費用を圧縮する。</p> <p>サ 子どもの施設オープン目標を令和7年度内と定め、令和5年度は関係者（地元連合自治会含む）の意見を聞きながら、ワーキンググループが基本計画を策定する。令和6年度前半は子ども施設運営主体を決め、食堂・カフェを経営する事業者を募集する。後半は設計・工事着手。</p> <p>以上の構想案について当局はどうお考えでしょうか。</p>					教育長	
2	<p>袋井駅南地区「新幹線南側エリア」土地利用基本構想案の問題点と対案の提案</p> <p>(1) （都市計画道路）「柳原神長線」新設計画は、水害を拡大する恐れがある。住宅地の道路や秋田川堤防の高さとの比較で、同じぐらいの高さかそれ以上か、それ以下にするかで、住宅地への冠水被害が大きく異なる。この点を当局はどう認識しているのかを問う。</p> <p>(2) 緑のにぎわいゾーン、快適居住ゾーンは、埋め立てを伴う。新幹線北側地区は既に商業ゾーンとして大規模に埋め立て開発され、昨年9月23日の豪雨では、新幹線南側は湖状になり、小川町・清水町の住宅が甚大な被害を受けた。構想案では、新幹線南側を大規模に埋め立て開発する予定だが、このままの計画で将来住宅地に被害が及ばないと考えているのかを問う。</p> <p>(3) 遊水池公園ゾーン構想に、池の周囲に歩行者空間やデッキなどのオープンスペースを整備、スポーツや子どもの遊び・民間事業者に開放してイベント開催など、現在の田端東遊水池公園に似たような案が出ている。この案では、貯水機能が減少する。水害防止の貯水機能だけにすれば経費も安くなり、水を受ける機能が大きくなる。治水対策との関連でこの点を当局はどう考えているのかを問う。</p> <p>(4) 袋井市都市建設部と総務部危機管理課が2019年3月に作成した洪水ハザードマップ袋井南・高南地域図は、市が新たに開発しようとしているエリアを最大浸水深さ3メートルから5メートル、一部5メートル以上になると指定し、早期の立ち退き避難が必要な区域としている。このエリアに快適居住ゾーンを構想しているが、矛盾している。ハザードマップとの整合性を問う。緑のにぎわいゾーンを含め、大規模に埋め立てると、袋井南・高南地区住宅地に住む住民は、未来永劫、水害の恐怖にさらされる。この点をどう考えているのかを聞きたい。</p> <p>(5) 市長は南側エリア袋井セントラルパーク構想を未来に向けた事業と考えておられるようだが、私は逆に治水対策の面から未来に禍根を残す事</p>					市長	

質問順序	10	議席番号	11	質問者	竹野 昇
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					答弁者
2	<p>業だと考える。構想案に防災ゾーンがある。新たに64億円もの巨額の費用で3基の排水ポンプを作り、遊水池を2つ作る計画は、評価している。ただ問題は、原野谷川が危険水位まで増水した場合、ポンプを停止してさらに柳原の水門を閉めざるを得ない事態が起きる。この場合、柳原の防災ゾーンに集まった水は、高低差により秋田川を逆流して小川町北のエリアに来る。昨年9月23日の豪雨ではポンプは一時停止したがその後稼働した。しかし水門を閉じたために、逆流で小川町・清水町の住宅地や道路が冠水して甚大な被害を受けた。将来想定外の豪雨で、原野谷川の増水が危険水位に達し、3基のポンプを停止・水門閉鎖の最悪事態が起きた場合、新幹線南側エリアは緑のダム機能を発揮して相当量の水を受ける必要がある。この機能を奪い埋め立て開発計画を作るなら、防災ゾーンに作る2つの遊水池と遊水池公園ゾーンに作る遊水池、そして快適居住ゾーンに法律に従い作る遊水池それら全体で、どれだけの水を蓄えることができるかシミュレーションして、住宅地及び道路冠水の心配がないと証明してもらいたい。未来に向けた事業というなら、それをやらずして住民に未来の不安を与えるのは許されない。シミュレーションをするかしないか、市長のお考えを問う。</p> <p>(6) 袋井駅北口市有地に商工会議所が入るホテルを建設する際、当局は駅前のにぎわい・商業の活性化を目的に挙げた。しかし駅北口・商業はにぎわっているとは言えない。新幹線南側ににぎわいを作る前に、土地区画整理事業で整備した駅北口のにぎわい・商業の活性化を図るべき。当局の新幹線南側エリア開発計画は、駅北口の現状が改善されないと思う。この点をどう考えているのか問う。</p> <p>(7) ここからは私の対案です。新幹線南側の現状が良いとは考えていません。住民や地権者にとり、耕作放棄地をなんとか解消したい思いは共通しています。市当局も同じでしょう。私の提案。</p> <p>ア 可能な限り元の水田に戻す。地権者に代わり耕作してくれる農業従事者の協力が条件となります。</p> <p>イ 耕作者が現れない場合、耕作放棄地をお花畑にして、景観を良くする。住民の団体がやれば補助金が出ます。</p> <p>ウ 地権者の理解・協力が絶対に必要ですが、水を受ける機能を高めるため表土を剥ぎ取り、金のかからない遊水池にする。</p> <p>エ ソーラーシェアリングで、太陽光発電と農業をする。事業者が地権者に代わり業務を代行する。市は事業者に助成金を出す。クリーンな電気は周辺公共施設で使う。市のゼロカーボンシティ宣言に合致する未来の事業です。</p> <p>オ 耕作放棄地を市民農園にする。</p> <p>カ これらを組み合わせ、一定量の水を緑のダムとして蓄えられるなら、快適居住ゾーン構想の東側部分で既に店舗や家が建っているエリアは住宅地として開発する。</p> <p>キ 柳原神長線の道路は新幹線側道の狭い箇所は拡幅、できることなら自転車・シニアカー・歩行者供用の歩道の整備を望む。</p>				市長

質問順序	10	議席番号	11	質問者	竹野 昇	答弁者	
質問事項・要旨（具体的な質問事項）						答弁者	
2	<p>ク 令和5年度市の実現に向けたロードマップによると、都市開発法定手続き、土地利用基本計画作成、民間活力導入可能性調査の予定となっています。私はそれに具体的に着手する前に高南地区住民との事前協議が必要だと考えます。地域の未来に関わる市の新幹線南側エリア土地利用基本構想案に、住民の意向が反映されないのはおかしいです。令和5年度前半早期に住民と当局との話し合い、住民と地権者・当局と話し合う場を何回か持てるようにしてもらいたい。住民の納得・賛同を得てから、予算執行を含む事業展開をやってもらいたいが、当局の見解を伺う。</p> <p>以上の提案について、当局の考えを伺う。</p>					答弁者	市長

質問順序	11	議席番号	19	質問者	高木 清隆	
質問事項・要旨（具体的な質問事項）						答弁者
1	青少年健全育成事業の委託について 青少年健全育成実践団体への事業委託とコミセン職員の関わりについて、明確にすべきである。 (1) 事業委託に向けて、実施要項が策定されたのか。 (2) 事業計画（案）に、危機管理体制が明記されているのかについて伺う。 (3) 事業予算書（案）における、事務経費の取り扱いについて伺う。 (4) 県の体験寺子屋事業補助金に対象となる位置付けについて伺う。 (5) 県補助事業への申請、報告の手続きについて伺う。 (6) 委託金額、委託内容、事業結果等について、公表されたのか。 (7) まちづくり協議会と委託契約するにあたり、委託契約書の見直しがされたのか。 (8) 実践団体の自立に向けた支援・指導はされているのか。 (9) 委託事業とは、団体の責任において実施すべきと考える。改めて見解を伺う。					教育長
2	クラウンメロンの振興策について 新聞等、クラウンメロン関連の掲載が減っている状況にある。議会の政策提言を真摯に受け止めるべきでは。 (1) 政策提言を、クラウンメロン支所、クラウンメロン振興協議会として、どう受け止めておられるのかについて伺う。 (2) 求められた短期施策について、クラウンメロン振興協議会として、どのように取り組み、活動展開につなげていく考えなのか。 (3) 県の新たな農業振興施策・持続的農業経営支援事業費助成に合わせ、市独自の助成制度の創設が必要では。					市長
3	合併処理浄化槽の設置補助金と維持管理補助について 制度における、枠組みの創設と、枠組みの拡大が必要では。 (1) 合併処理浄化槽設置事業補助申請においては、地元事業者枠が必要では。 (2) 公会堂も、合併処理浄化槽維持管理費補助の対象にすべきでは。					市長

質問順序	1 2	議席番号	5	質問者	村松 和幸	
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					《一括》	答弁者
1	心ゆたかな人づくりに向けて 令和5年度の主要事業として、幼小中一貫教育の仕組みを生かした円滑な幼小接続の推進や、ICTのさらなる活用による袋井型の授業づくりの実践が挙げられている。子どもたちが夢と希望を持ち予測困難な時代を生き抜く力、人間力を育む学びの充実を図っていくことから、以下のことを質問する。 (1) 本市は、先駆けて幼小中一貫教育を始めて3年になる。4学園化したことについての成果と課題は検証できているか。 (2) 学園別に作成されたカリキュラムの特色、学力の差などはあるのか。 (3) 不登校児のケアはしっかりできているか。				教育長	
2	多様性（ダイバーシティ）社会の実現に向けて 生きづらさや働きづらさを抱えた多様な人が生きやすく、働きやすい環境を整え、多様性を受容する社会を構築していく、ダイバーシティ社会の実現の必要性があると言われている。本市においても早急に課題解決をしていかなければならないことであると考えことから、以下のことを質問する。 (1) 性別に関係なく、子育てしやすい環境をつくることが重要であると考えるが、現在はどうのように取り組んでいるか。また、実現するための課題は。 (2) 他自治体において、性的多様性をより積極的に認める動きがあるが、本市としての見解を伺う。 (3) 本市の働き方改革において、ダイバーシティ実現の進捗状況は。 (4) 多様性理解の視点から、教育現場ではどのように取り組んでいるか。				市長 教育長	
3	メタバースを活用したまちづくり 世界中の国々で、バーチャルの力を用いた地域活性化の動きが活発化しています。日本も例外ではなく、メタバースを活用した地方自治体のさまざまな例が報告されるようになってきました。スマートシティの新しい潮流としてメタバースが注目されていることから、以下のことを質問する。 (1) 本市は、メタバースの活用について、どのような研究・検討が行われているのか伺う。 (2) スマートシティ袋井として、メタバースを積極的に活用した情報発信をしていくべきと考えるがどうか。 (3) メタバース内でのECサイトの開設や、ふるさと納税のPRなど、経済活動に関しても有効であることから、コンピューティングプラットフォームを開発していくべきと考えるがどうか。 (4) ICT教育が行われている本市において、教育現場でのメタバース活用も有効であると考えが見解を伺う。				市長 教育長	

質問順序	13	議席番号	4	質問者	安間 亨	
質問事項・要旨（具体的な質問事項）					《一問一答》	答弁者
1	<p>市内小中学校における健康診断について</p> <p>学校の健康診断は、健康状態を把握し、学校における健康課題を明らかにして健康教育に役立てるといふ大きな役割がある。知識・情報・技術をめぐる社会的変化の速さも加速度的となり、各学校において、組織的・計画的・継続的な健康診断の実施に向けた対応や取組がより一層求められている。</p> <p>(1) 各学校における健康診断の実施にあたり、地域の医療機関や関係機関の理解と協力は不可欠となる。全国的に学校医のなり手不足が叫ばれているが、本市における今後の学校医確保の見通しはどうか。</p> <p>(2) 本市はこれまで不登校対策に積極的に取り組んでいるが、不登校児童生徒の健康診断の実施に向けたフォロー体制は十分できているか。</p> <p>(3) 脱衣を伴う検査について</p> <p>ア 令和3年3月文部科学省より事務連絡として「脱衣を伴う検査における留意点」が示された。プライバシーの保護や男女差等への配慮の観点から児童生徒等の心情を考慮するだけでなく、適切かつ正確な診察や検査を実施する旨の記載があるが、この事務連絡を受けた本市のこれまでの対応状況は。</p> <p>イ 脱衣を伴う検査の実施においては、まず児童生徒や保護者の要望を学校が把握し、学校医と共有することが望ましいのではないか。その上で、どのような配慮や対応が可能であるのか検討すべきと考えるがどうか。</p>				教育長	
2	<p>「オーガニックビレッジ宣言」について</p> <p>農林水産省は「みどりの食料システム戦略」として、生産から消費まで一貫し、農業者のみならず事業者や地域内外の住民を巻き込んだ地域ぐるみで有機農業に取り組む市町村、いわゆる「オーガニックビレッジ」創出の後押しを打ち出した。既に「みどりの食料システム戦略交付金」において支援が開始され、2025年までに100、2030年までに200の市町村に増やす目標も明らかにされている。</p> <p>(1) 農林水産省は先進的なモデル地区「オーガニックビレッジ」を順次創出し、横展開を図っていくとのことであるが、本構想に対する本市の基本的な考えは。</p> <p>(2) 有機農業の拡大に向けた「有機農業実施計画」の検討や有機農業の生産・流通・加工・消費の各段階における試行的取組の実施等、本市においても「オーガニックビレッジ宣言」に向けた試みを推進すべきと考えるがどうか。</p>				市長	